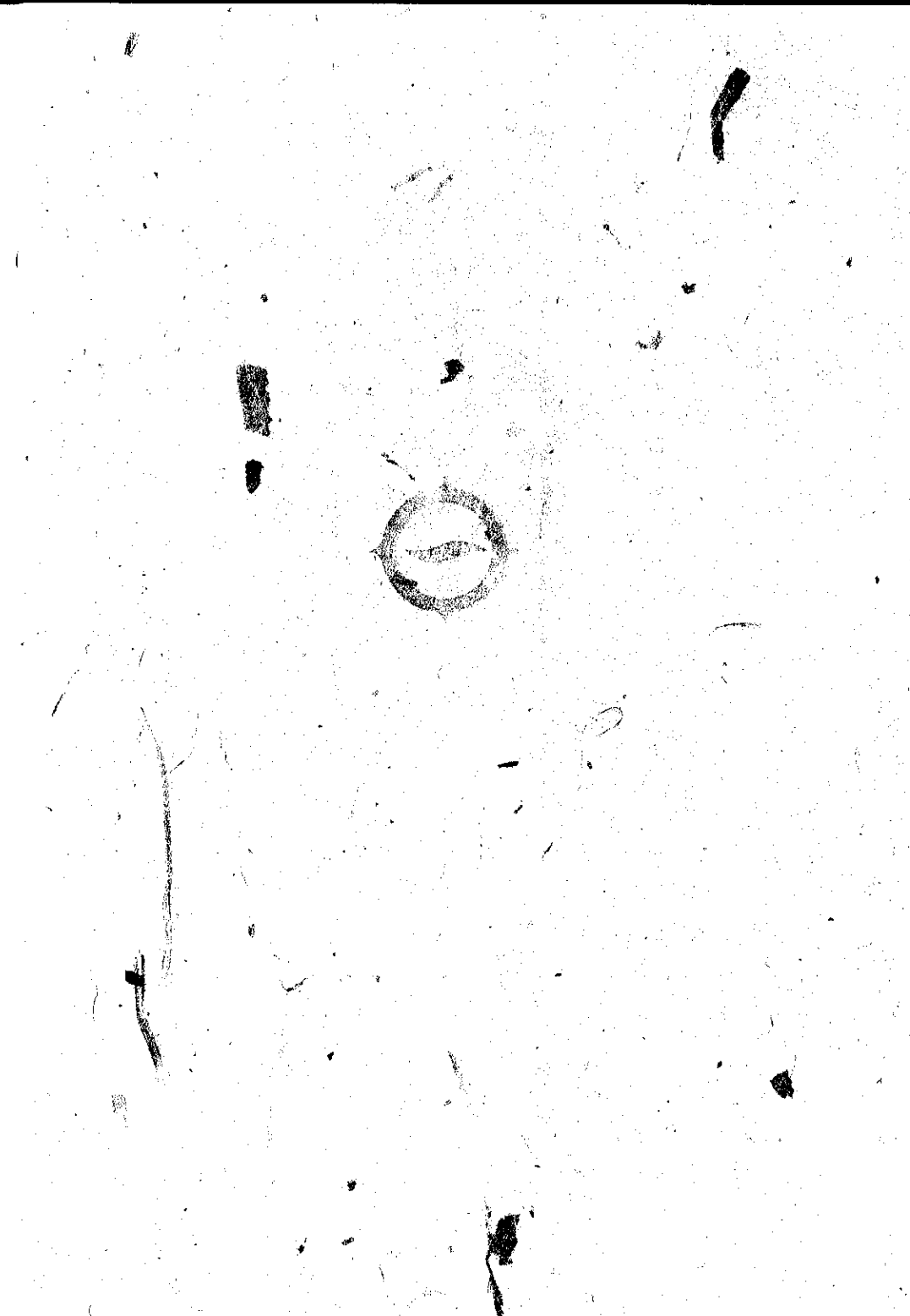


日野市史

通史編二(上)



日野市史

通史編二(上) 中世編

目次

題字 丸山 巒 溪

口 序 序 凡 例

中世編

第一章 鎌倉時代

第一節 鎌倉幕府と多西郡の武士

一 平山季重と日野

『吾妻鏡』にみる平山季重(三) 一谷合戦(六) 頼朝の批評(一一) 奥州合戦に従軍(一三)

季重の名著(一四) 福生も季重の所領か(一五) 平山正義の建碑(一六) 建碑の苦勞(一九)

二 横山氏の盛衰

平安時代末期の横山氏(二二) 源頼朝にしたがう(二六) 『吾妻鏡』にみる横山父子(二七)
但馬国総追捕使(三〇) 淡路国守護(三三) 建久元年の上洛(三四) 建保和田合戦(三五)
幕府と武蔵国(三八) 横山一族の参戦(四〇) 横山氏の滅亡(四三)

三 日奉氏と高麗氏

日奉氏小川系図(四七) 藤原宗頼とその子孫(五〇) 鎌倉時代の日奉氏(六一) 武蔵在庁官人
日奉氏(六四) 立河文書にみる土瀨氏(六七) 日奉氏の衰退(七〇) 高麗氏の得恒郷進出(七一)

第二節 日野地域の荘園と公領

一 船木田庄と土瀨・得恒・吉富の三郷

中世の郷と荘(七三) 吉富・得恒・土瀨三郷(七五) 林業荘園船木田庄(七八) 船木田庄と横山庄(八六)

二 武蔵国吉富郷真慈悲寺

真慈悲寺の再建(八八) 真慈悲寺の阿弥陀如来坐像(九〇) 祈禱の靈場真慈悲寺(九五)
真慈悲寺の発掘調査(九九)

第二章 南北朝・室町時代

第一節 戦乱の中の武士たち

一〇七

一	山内経之と常陸合戦	一〇七
二	高師冬の常陸出陣(一〇七) 戦場からの手紙(一一二) 高師冬の滅亡(一二一)	
三	大石氏の多西郡支配	一一六
一	船木田庄年貢算用状(一二六) 武蔵国守護代(一二八) 信重の足がため(一三〇) 重臣大石憲重・憲儀(一三五) 大石重仲の非法(一三八) 多西郡への進出(一四一) 定久から北条氏照へ(一四三)	
二	室町時代の動乱と多摩地域	一四四
三	上杉禅秀の乱と武州南一揆(一四四) 武州南白旗一揆(一四七) 武州南一揆の成員(一五一)	
四	船木田庄と武州南一揆(一五四) 享徳の乱と分倍河原合戦(一五八)	
一	高幡高麗文書の発見	一六一
二	彦根城博物館を訪ねて(一六一) 伝来の謎(一六一) 高幡高麗文書の内容(一六二)	
三	鎌倉末期の高幡高麗氏(一七三) 南北朝・室町期の高幡高麗氏(一七四)	一七三
第二節	高幡不動の再建と儀海	一七六
一	儀海の布教活動と高幡不動	一七六
二	高幡不動の再建(一七六) 儀海の法系(一七七) 由比郷と称名寺(一八二) 儀海の造寺活動(一八九)	
三	高幡不動の二つの板碑(一九三)	
四	鎌倉末期の高幡高麗氏(一七三) 南北朝・室町期の高幡高麗氏(一七四)	
第三節	高幡不動胎内文書納入の謎	一九五
一	高幡不動胎内文書(一九五) 不動明王と大黒天の印仏(一九八) 印仏の捺され方(二〇〇)	
二	印仏の目的(二〇二) 呪符としての印仏(二〇三)	
三	不動堂山上再建計画と勧進帳	二〇六
四	不動堂の元地はどこか(二〇六) 乗海の勧進帳(二〇七)	
第四節	日野の中世村落遺跡	二二三
一	日野の中世集落遺跡	二二三
一	文献史料と物質資料(二二三) 平山氏の遺跡(二二四) 落川遺跡(二二五) 南広間地遺跡(二二七)	
二	栄町遺跡(二二七) 高幡城跡(二二八)	
三	南広間地遺跡	二二八
四	古代の開発(二二八) 中世前期の景観(二二二) 中世後期の景観(二二五)	
五	栄町遺跡	二二七
六	遺跡の概要(二二七) 発見された中世の遺構(二二九) 出土遺物(二三三)	
七	落川遺跡	二四〇
八	遺構の概要(二四〇) 中世初期の様相(二四六)	

第一節 後北条氏の相模・武蔵進攻

一 他国よりの慮外の盗跖・凶徒

永正元年の立河原合戦(二四九) 相模から武蔵へ(二五三)

二 北条氏照の城領支配

氏照大石家を継ぐ(二五八) 北条藤菊丸 由井源三(二六〇) 滝山城領と由井領(二六二)
橘樹郡子安郷(二六四) 荏原郡南北品川郷(二六六)

三 滝山・八王子城領の軍役と罪科

三田綱秀と清戸三番衆(二六九) 陣触(二七二) 氏照の罪科文言(二七四) 罪科の実際(二七六)

第二節 後北条氏の滅亡と八王子城領

一 後北条氏の外交と戦争

同盟(二七八) 豊臣秀吉の「関東惣無事令」(二八〇) 小田原「征伐」(二八一) 小田原開城(二八三)

二 後北条氏の臨戦態勢

城普請と農兵の徴集(二八四) 八王子城の防衛(二八七) 八王子城落城(二九〇)

第三節 戦国時代の日野市域

一 高麗氏と平山氏

戦国期の高麗高麗氏(二九五) 市域の平山氏(二九九) 檜原谷の平山氏(三〇一)

二 市域に残る北条氏照の文書から

二四九
二四九
二五八
二六九
二七八
二七八
二七八
二八四
二九五
二九五
三〇四

「土方文書」の三沢衆史料(三〇四) 三沢衆の軍役(三〇六) 「佐藤文書」の竹木伐採禁制(三〇八)

コラム

・百草朝日様始末……………一〇六

・戦場からも金銭の工面……………一二五

・もう一つの胎内文書……………二〇五

・〈勸進帳〉の現物……………二二二

資料提供者並びに協力者一覧……………三二五

執筆分担……………三二六

あとがき……………三二八

日野市史編さん関係者名簿……………三三〇

見返し

『江戸名所図会』より